

石川县的讯息杂志

COM→ISHIKAWA.JP

认识石川县

INTERVIEW WITH 石川县民

连结亚洲各国的经济,
国际交流的纽带角色

金泽大学地区合作中心所长·教授 神谷 浩夫

与石川县人们的交流

博客专区 BLOGGER'S AREA

「日本三大名园之“兼六园”」

「在金泽的日本文化体验」

「灯笼漂流记」

多彩多姿的网站交流

兼六园的魅力

从居住在县内的外国留学生的视线来看兼六园是什么感觉呢？

石川县是您旅游最佳之选

TAKE FREE

SUMMER/2011

ISSUE.01

石川縣的訊息雜誌

COM → ISHIKAWA.JP

認識石川縣

INTERVIEW WITH 石川縣民

連結亞洲各國的經濟，
國際交流的紐帶角色

金澤大學地區合作中心所長・教授 神谷 浩夫

與石川縣人們的交流

部落客專區 BLOGGER'S AREA

「日本三大名園之“兼六園”」

「在金澤的日本文化體驗」

「燈籠漂流記」

多彩多姿的網站交流

兼六園的魅力

從居住在縣內的外國留學生的視線來看兼六園是什麼感覺呢？

石川縣是您旅游最佳之選

TAKE FREE

SUMMER/2011

ISSUE.01

金沢駅より徒歩3分

政府登録国際観光ホテル
キャッスルイン金沢
 CASTLE INN KANAZAWA

「外国人留学生から学ぶ中国語初級講座」を開催しています

〒920-0852 石川県金沢市此花町10番地17号
Tel.076-223-6300
 Fax.076-265-6365
 E-mail.mail@castle-inn.co.jp

総客室数:194室 収容人数:387人
 館内は無線LAN、大浴場やレストラン、会議室など設備が充実しています
 長期滞在用のゲストハウス（共用キッチン、交流サロン有）も併設

<http://www.castle-inn.co.jp>

ガンバレ日本!!
ガンバレ東北!!

日本! 加油!!
 東北! 加油!!



株式会社ジーネット
GNET

グローバルコミュニケーションサポートの

株式会社ジーネット 〒921-8031 石川県金沢市野町5丁目18-87

石川縣的訊息雜誌
COM-ISHIKAWA.JP
 SUMMER/2011
 ISSUE.01

Cover Design:
 繁体: Adbusiness Center
 簡體: Yuri Ohtani

目録

- 2 石川県について
- 3 INTERVIEW WITH 石川県民
アジア諸国との経済的、人的な紐帯役
 金沢大学地域連携推進センター長・教授
 神谷 浩夫
- 6 石川県の人々との交流
 金沢大学大学院 張 林林
- 8 ブログエリア BLOGGER'S AREA
 「日本三大名園“兼六園”」北陸大学 高 融
 「金沢で日本文化の体験」金沢大学 莊 敬文
 「灯笼漂流記」北陸大学 譚 琪盛
- 11 ウェブサイトで多彩な交流
 甘 秀娟
- 12 兼六園の魅力
 県内在住の外国人留学生の目に映る兼六園の姿とは。
- 14 旅行をするなら石川県
 新日本ツアーリスト 郭 静

Greeting - 創刊にあたってのごあいさつ

石川県は「海外誘客10倍構想」を掲げ、2014年には海外誘客数50万人を目標とし、そして国際化に向けては「交流人口の拡大」と「多文化が共生する交流社会づくり」の実現を目指し、様々な施策を構築・展開しております。

わたしたちは、このような、石川県の積極的な取り組みや、恵まれた観光資源を、石川県在住の外国人の方々のネットワークを通じて、国内在住の外国人や海外へと発信する仕組みをつくり、ひとりでも多くの外国人に石川県へ来てもらいたいと考えております。

誘客と国際交流の融合で「新しい情報発信をつくる」そんな思いから、外国人との交流促進と石川県をピーアールする情報誌「com-ishikawa.jp」が生まれました。!

この情報誌制作には、石川県在住外国人の方々も参画しております。彼らは、生活や仕事、学業をともにする、我々と同じ住民です。彼らは、石川県のピーアールをサポートしてくれています。彼らは、皆様と交流をもちたいと思っています。

皆様のご支援を心からお願い申し上げます。

協同組合アドビジネスセンター

Information〈情報発信〉から
 Communication〈つながり〉へ――

“com-ishikawa.jp”は石川県在住外国人の方々とともに、制作されています。「誘客と国際交流の融合」をコンセプトに石川県に住む人々に焦点をあてて地域・観光情報を発信

EDIT

協同組合アドビジネスセンター
 日本石川県金沢市大友町二 65-1 Zip:920-8222
 Tel.+81-76-239-5100 Fax.+81-76-239-5101
 E-mail. ad-bc@com-ishikawa.jp

石川県について



石川県は日本のほぼ中央部にあり、日本海側にあります。地形は細長く、面積は約 4,185 平方キロメートル。総人口は、1,170,040 人（2010 年国勢調査）です。

県庁所在地である金沢市には日本三名園のひとつ「兼六園」をはじめ、美しい城下町の町並みや、数多くの貴重な文化財が残されている一方、近代的な街づくりも進んでいます。

また、石川県には、数多くの伝統工芸と伝統芸能が息づいています。伝統工芸では、輪島塗、山中漆器、金沢漆器、九谷焼、加賀友禅、加賀繡（かがぬい）、金沢仏壇、七尾仏壇、金沢箔、牛首紬（うしくびつむぎ）といった 10 品目に上る国指定伝統的工芸品のほか、約 20 数品目の工芸品があり、どれも美しい芸術品です。

石川県の北部の能登半島国定公園、越前加賀海岸国定公園は、美しく特徴のある海岸線を主体とする公園です。周辺地域では様々な海鮮を食べることができ、特に、刺身、寿司が有名です。

南部の白山国立公園は、日本三名山の一つである白山を中心とする山岳自然公園で、ユネスコの生物圏保存地域に指定されるなど、我が国有数の自然性の高い国立公園です。日本でも指折りの豊かな自然に恵まれた地域で、心身をリフレッシュさせてくれる温泉も豊富です。

交通方法

電車

JR Group → <http://www.japanrailpass.net>

金沢—米原—東京	4 時間 12 分
金沢—越後湯沢—東京	3 時間 47 分
金沢—京都—大阪	2 時間 30 分
金沢—京都	2 時間 3 分
金沢—米原—名古屋	2 時間 25 分

飛行機

ANA → <http://www.ana.co.jp/eng/>

JAL → <http://www.jal.co.jp/en/>

小松空港	東京便	11 往復 / 日
	成田便	2 往復 / 日
	札幌便	1 往復 / 日
	仙台便	1 往復 / 日
	静岡便	1 往復 / 日
	福岡便	2 往復 / 日
	那覇便	1 往復 / 日
	ソウル便	4 往復 / 週
	上海便	4 往復 / 週
	台北便	2 往復 / 週
能登空港	東京便	2 往復 / 日

INTERVIEW WITH 石川県民

アジア諸国との経済的、人的な紐帯役

金沢大学地域連携推進センター長・教授
神谷浩夫



金沢大学
地域連携推進センター長・教授
神谷 浩夫

PROFILE.

【教育分野】

人間社会学域 地域創造学類 地域プランニングコース

【大学院】

人間社会環境研究科 人間社会環境学専攻

【所属組織】

人間社会研究域 人間科学系

金沢大学地域連携推進センターは、大学の有する人的・物的資源を活用し、地域社会との連携を推進するために2008年4月に設置されました。現在、地域連携推進センターが手掛けている主な事業は、1) 里山里海プロジェクト、2) 公開講座、3) 能登の祭り支援プロジェクトなどがあります。

里山里海プロジェクトは、角間キャンパスを取り囲む豊かな自然を保全して研究と教育に活用するだけでなく、環境学習の教材としても積極的に活用することを目的としています。近年では能登半島にも活動拠点を設け、過疎化が進行する能登半島の活性化を目的として、環境配慮型の農林水産業を志す若い世代を育成する「里山マイスター」プログラムも推進しています。

文化を学ばせるとともに過疎化に悩む農村の現状について理解を深めさせることを目的としています。多くの留学生も参加しています。留学生にとっては、日本の農村を実体験できるまたとない機会であり、農家に民泊することで農村に暮らす日本の人々と接することもできます。

地域連携推進センターでは、他にも数多くの事業を行っています。留学生に石川県内の観光地を見てもらい、海外からの観光客にとって石川県の魅力を高めるための意見を求めるモニターツアーはすでに3回実施しました。

これから、日本とアジア諸国との人的、経済的交流はさらに活発化することは間違いありません。金沢大学で

金沢大学公開講座は、金沢市および周辺の市民を対象として、大学の教員が研究成果を一般の市民に分かりやすく還元するものです。市内中心部にある金沢大学サテライトプラザを会場にして安価な料金で開講しています。2011年4月から始まった金沢大学の中国人留学生による社会人向けの中国語講座も、サテライトプラザを会場として開催しています。民間による語学講座とは異なり金沢大学で学ぶ留学生が講師を務めており、中国・台湾とのビジネスを拡大するために中国語を学びたいという社会人と石川県の企業で就職を希望する留学生との接点を作ることも狙いとしています。

能登の祭り支援プロジェクトは、過疎化の進展によって祭りの重要な担い手である若者が減少して祭りの継続が困難になっている能登半島の村に金沢大学の学生を派遣し、日本の伝統

は多くの留学生が学んでいます。今後さらに多くの留学生が金沢大学で学ぶようになり、また日本人学生がアジア諸国で学ぶようになると予想されます。同時に石川県を訪れる観光客や石川県で働く外国人もさらに増加することは間違いありません。地域の発展に寄与することは、金沢大学の重要な使命の一つです。そのためには、石川県においても多文化共生を進める必要があります。石川県の在住する外国人と日本人との相互理解を深め、アジア諸国との経済的、人的な紐帯を地方レベルでも強めるために、金沢大学地域連携推進センターはその役割を果たしていくつもりです。



金澤市内景観体験遊時所拍的照片

石川県の人々との交流

金沢大学 大学院
張 林林

小さい時に観たテレビの影響を受けているので、(私は) 優秀なOLになって、大会社の中で出勤することを夢見ています。私が高校を卒業する時までいた郷里の近くでは多くの外資企業が建ち並んでいて、当時私はそこに出勤することができる日をとっても待ち望んでいました。しかし、日本語を話すことのできない私が、日本語をマスターするために必要な時間はとても短い間しかありませんでした。最も良い方法は留学でした。標準的な発音を習うことができるだけでなく、日本での留学ということが自分の成長に対してとても良い運動、とても新鮮な体験になるだろうと思いました。このように私の夢は自分を日本に連れてきました。

時間が過ぎるのは本当に速く、またたく間に私はすでに 6 年間日本で生活しました。北陸大学を卒業してから順調に金沢大学大学院に受験して入ることができ、現在大学院で 2 年勉強をし、来



彼らは(受講者は) 皆さん石川県政府の考えに賛同してくれた方々で、積極的に参加してくれています。受講者は観光業をはじめ様々な業種に従事しています。中国語・中国の文化が好きな受講者の方々を心から愛するだけでなく、皆さん外国人との交流に対して積極的に親切です。

その後の授業ごとに私達みんな温和で楽しい雰囲気の中で過ごしています。努力している、たくさんの字と発音練習から初めて、今では自分である程度のセンテンスをつくることできるようになりました。これらは私が本当にとても楽しく、とても感動を感じることができま



年卒業することになっています。今年の 5 月、私は光栄にもアドビジネスセンターから招待を受け、石川県金沢地区の中国語の先生を担当しました。

これは石川県が、もっとたくさんの外国人観光客を石川県に来てもらうためにアドビジネスセンターに事業を委託し、その中の(事業の)一つとして中国語教室を開いたもので、外国人が石川を観光するための準備となっています。

また私の第 1 回の授業の時、私はとても緊張し、授業がまだ始っていないのに私はすでに顔がこわばって両足が震えていたことを覚えています。順調にこの授業時間を完成させることができるかどうか判らなかったときに、受講者の方が恐らく私の緊張を見抜いたのでしょう、日本語で私に“大丈夫、頑張つて!”とほほえんでくれました。簡単なひと言は私にとっても大きい激励を与えてくれました。私は勇気を奮い起こして、みごと私の第 1 回の授業を完成させることができました。当然、“没关系、加油!”という言葉も、彼らにとって簡単な言葉になってくれました。

す。彼らの姿勢は私に敬服の念を抱かせるもので、とても勉強になります。

今後の授業でも私達は楽しい気持ちで共に努力して、積極的な学習態度で発音を練習して、中国語をマスターしていきます! 皆さん(外国人観光客)が石川を旅行しに来る時に中国語での交流ができることを望んでいます。

あなた達の到来を期待しています!



中国語初級教室時的廣告傳單

金沢大学 張 林林

PROFILE.

2005 年 3 月 濟南國際交流學院 卒業、2010 年 3 月 北陸大學未來創造學部 未來文化創造學科 卒業 2010 年 4 月 金沢大學大学院自然科學研究科 博士前期課程 入學

私は日本石川県金沢市にいる留学生の一人です。私は今までのすべてのことで、私の両親、親戚と友達にとっても感謝しています、私がなぜ日本に来ることができたのか、彼らは留学が私にとっても大きな力を与えてくれたからです。今なお私は日本へ留学に来ることが私が最も正しい選択のひとつになったと思っています。

日本三大名園“兼六園”

北陸大学 高融

留学を決めるまえにネットで調べたところ、金沢と私の家との環境や気候がとてもよく似ていて、更に学校の先輩たちから北陸大学は学生に対してとても責任感が強いと云われたので金沢を選びました。

金沢と私の故郷には共に豊富な観光資源や歴史的遺跡があります。次にわたしは金沢市の名勝一兼六園を重点にちょっと紹介したいと思います。



兼六園は日本三大名園の一つであり、海外でもその優れた美しさが知られています。そして兼六園の名称は中国と切っても切れない関係深いものです。兼六園の由来は中国宋朝の李格非の著書「洛陽の名園記」にある“宏大、幽邃、人力、蒼古、水泉、眺望（広大、奥深く静か、人工、古風だが枯れてなお力強く飾り気がない、泉、眺め）”の六つ名勝から命名されました。もしあなたが以前兼六園を訪れていたなら、園内のあちらこちらで見える風景や独特の仕掛け、そして兼六園の特別な四季の色合いに出会ったことでしょう。

春の兼六園は桜花爛漫、可愛い白い花びらが舞い、夏の兼六園は木の森が青々と繁り、その中を静かに歓談しながら散策、秋の兼六園は楓が紅葉して散る前の燃えるような情熱を感じさせ、冬の兼六園は古木老木に積もる大雪の

姿で一幅の水墨画を味合せてくれます。またこの季節は積雪の傷害を樹木が受けにくいよう保護する日本独特の風景＝雪つり＝を見ることが出来ます。兼六園に来て静かに耳をかたむけ、風景を見つめ、ただあなたの身をおくだけで、さまざまな美しさがわかります。



高融
皆さん、2010年4月、大連外国語学院から石川県金沢市の北陸大学に留学しています、現在は未来創造科の4年生です。



金沢で日本文化の体験

金沢大学 莊敬文



石川県での生活は大変いそがしいですが充実しています。金沢大学で私は茶道、三味線、武道、その他数え切れないほどの文化体験に参加しましたが、その中でも茶道の学習では皆さんとともに楽しい気持ちを分かち合えたと想います。

去年10月から、金沢大学は留学生のために一回2時間の茶道講習を提供しました。これは他大学にはない金沢大学ならではの幸せの提供というべきでしょう！これに比べ他大学はわずかに茶道体験だ

けで、金沢大学では一つのお茶を点てるにも丁寧に順序を立てて作法を学習することが出来ます。

それに金沢では茶道が一番の意義のあることとの話は納得できる気がします。江戸時代歴代藩主は茶道文化にたいへん熱心で積極的に茶道を広めたためといわれています。加賀藩の中心地金沢で茶道文化が著しく普及したことは自然なことであり重要でもあります。そして私たちが毎週教えてくださる裏千家茶道流派に属し、非常に真剣且つ丁寧な指導してくださる先生です。

この10ヶ月間私は毎回の茶道講習を欠席しませんでした。毎回季節によって違う和菓子を食べられると他のクラスメイトが講習に来てお茶を点（た）てたりしましたが、茶道の一番楽しいのは自分でお茶を点（た）てる過程です！点て方は一見複雑に見えますが時間をかけて、

学んでいくうちに、頭の中にこれら茶道の作法が刻み込まれ、最後の茶会には本格的な入れ方でお茶を点（た）てて日本人に飲んでもらうことにしました。私はこの茶道体験が私の交換学生生活のうちで最も貴重な思い出になるとおもいます。



莊敬文
台湾の台中市から来ました。国立政治大学法律学の3年生です。日本文化は好きなので、2010年10月に姉妹校の交流留学生によって石川県金沢大に来て、10カ月の短期留学生活が始まりました。



灯籠漂流記

北陸大学 譚 琪盛

小さい時からアニメーションによってその中に現れる独特の日本文化及び伝統習俗に深く惹かれていたのが原因で、その結果更にこの地に入って日本を理解したいと希望しました。

日本に来る前にすでに石川県金沢市は日本の美しい城下町の一つで、著名な兼六園、歴史の長い金沢城、日本本土の特色ある茶屋街などなど、数えられないほど優れた文化遺跡があると耳に聞こえていました。それ故に私の日本伝統文化の旅をここで開始しようと決めました。

6月3日友達と一緒に日本の金沢市の一年に一回“灯籠流し”祭りを参加しました。

毎年開催される“灯籠流し”の祭典は金沢市挙げての伝統的習俗の一つです。これは中国における孔子祭の孔明灯の習俗に似ています。人々はまさに一灯一灯籠を川の中に入れようとしていま

す。ひとつひとつ大切な願いや思いを水に流していきます。

灯籠が一つまた一つ続いて川面に浮かんで流れています。灯籠に点した蠟燭の灯が揺らめきながら黄昏時に灯籠の四面の美しい手書き絵を映し出しています。よく見てみると、これらの手書き絵はどれも一緒になく、あるものは華やかな加賀友禅の着物を着た日本女性の絵、あるものは可愛いキャラクターの模様の絵があります。またあるものは毛筆の字で大きく“東北振興”“日本頑張れ”のような平和や幸せを祈る言葉が書かれ……どの灯籠にもみな、人々が困難に打ち勝つ決心及び将来の生活が良くなるようにと憧れの思いを託していました。

目の前の静寂な景色は、まるで絵画のようで、その美しさに感嘆する同時に、また私たちのような異国に居る留学生が、当地の住民と一緒にこの地の伝統あ

る日本の祭りに参加できたことはなんとも有意義な事柄だったと思います。



譚 琪盛

中国廣東省から来ました。現在北陸大学の4年生の留学生です。私の専攻は金融会計です。



ウェブサイトで多彩な交流

甘 秀娟

皆さん、こんにちは。私は勉強を兼ねて就労ビザで来た台湾の留学生です。私は日本の色んな所アルバイトしながら観光して来ました。日本での旅の最後に石川県を選んだ理由は、台湾観光客が多いから、私も行ってみたいと思いました。

石川県は空気がよくて、環境は優れていて、ご馳走は美味しい、こちらの降雨量が多く米は特に美味しい！「外出するとき弁当を忘れても、傘を忘れてはいけません」という諺もあります。石川県金沢市は繁栄した町だけでなく、歴史のある文化財もたくさん。香林坊109 それとも日本三名園の兼六園、どれでも楽しめるよ！

私は石川県に来てまだの2カ月だけど、参加したイベントは数えきれない。例えば粽の交流会、七夕祭り、浴衣を着せていただいて茶道を学ぶこと…など。私は石川県が外国人に特にやさしいと感じます！

私達の紹介する石川県をさらに知りたい方は、留学生達が書く石川県生活のブログ「COM-ISHIKAWA.JP」をご覧ください。留学生の生活、および石川県各地の観光地の紹介、サイトの内容は非常に豊かで面白くいつでも更新していますよ！

しかも、私たちは各大学の留学生と一緒に研究交流して、どのように SNS を利用するか…例えば Facebook、QQ、Youku など…石川県の事を全世界に広め、全世界に石川県の認知度を高める。特に SNS のシンポジウムを通して、私は使った事がないウェブサイトの知識が得られて、本当に面白かったです。

また、私は G-NET を紹介したいと思います、このウェブサイトの主旨は日留学生と外国人アルバイト就職した機会に援助しますし、今後各国言語教室を開設するつもりです。色んなイベントを行って外国人と日本人を相互交流促進します、外国人のためのウェブです。

ウェブサイト上に熱心な日本人が、私に日本歴史文化を教えていただいて、知識が増えました。ウェブサイトを通して台湾の親戚友達と連絡ができて、両地を離れても、台湾の動きも即時で受け取ることができます！もし私と交流したいなら、facebook で友達をリクエストしてね。



甘さんの BLOG も「com-ishikawa.jp」で読むことができます。
→<http://www.com-ishikawa.jp>

兼六園の魅力

県内在住の外国人留学生の目に映る兼六園の姿とは。



水戸偕楽園、岡山後楽園と並び日本三名園の一つにかぞえられる兼六園。写真右の微軫灯籠は石川県のシンボリックな存在。

去る 2011 年 7 月 10 日に石川県内在住の外国人留学生と共に、兼六園に関する研究会の事業の一環として、日本語によるガイド説明を聞きながら、兼六園を散策しました。

海外の方々、特に中国・台湾の方々から見て、兼六園にはどのような魅力があるのか？ また、これ迄に情報発信されている兼六園の魅力は伝わるのか？ この事を調査する目的で、留学生と、広告媒体に関する専門家等が参加しました。

留学生には、前日迄に参加者から兼六園に関して、興味・関心のある事を質問事項として纏めて、ガイドの方に提出してもらい、当日はその解答を聞くとともに、兼六園についての知識を深めて頂きました。

以下に、留学生からの質問事項とその解答を抜粋してご紹介します。

Q1. 「兼六園」という名前の由来には、中国との関係があるそうなのですが、詳しく教えてください。

A: 現在兼六園の住所は「金沢市兼六町」ですが、土地の名前から付けられたものではありません。「六つを兼ねる園」という意味から名付けられました。

1822 年、奥州白河藩主・松平定信は、加賀 12 代藩主前田斉広の依頼に応じて、宋の詩人・李格非の書いた「洛陽名園記」という書物の中にある「広々としていれば〈宏大〉静かな奥深さはなく〈幽邃〉、人工的であれば〈人力〉古びた趣は少なくなる〈蒼古〉。また池や曲水や滝が多ければ〈水泉〉、遠くは眺められない〈眺望〉。それぞれ相反する六つの景観を兼ね備えているのは『湖園』だけである」という文を参考にし、兼六園がそうであるという理由で名付けられました。

Q2. 実は中国にも有名な庭園がたくさんあります。兼六園は中国の庭園と比べて、違うところは何ですか。どういうところがいちばん日本らしいですか。

A: 兼六園は日本庭園の代表的な造りと位置づけられている「林泉回遊式大庭園」の特徴があります。一巻の絵巻物を見るように、ひと回りすると、池、山、曲水、樹林など、移り変っていく景色を眺めて歩く事が出来るという趣向で造られています。



Q3. 兼六園は「日本三名園」の一つと称されていますが他の名園と比べて、特徴は何ですか。

A: 兼六園は他の名園と比べると水がたくさんあることです。代表的なところとして、兼六園の中心部にある霞ヶ池、日本で一番古いと云われている噴水が挙げられます。また、兼六園の水は、ここから約 10km 離れた犀川上流の上辰巳村から、当時では画期的だったサイフォン式の技術を利用して水を引いています。

旅行をするなら石川県

新日本ツーリスト 郭 静

金沢市は有名な文化的建造物も多く日本三名園の一つ「兼六園」など日本的な情緒ある観光地です。

特に「食」の文化については石川県の海の幸は素晴らしいです。例えば、生きている魚を目の前で調理し、刺身にして楽しめたり、日本の清潔な食の技を感じさせ、魚を扱うお店は独特な魚臭さもほとんど無く、外国人にはとても新鮮な感覚です。私は以前は食べられなかった刺身も今は大好きです。

石川県と言えば温泉処としても有名です。世界的に有名な温泉旅館もあり、

旅館の中からガラス越しに広がる海や山は絶景です。この感動はとても言葉で表現できませんが、「おもてなし」という日本が誇る最高のサービスは、ぜひ中国の同胞に体験して頂きたい素晴らしい日本文化です。

先日の東日本大震災の影響も、西側に位置する石川県は影響も無く安全です。私は今、日本の旅行会社で仕事をしていますが、この機会に中国同胞へ出来る限りの快適なサービスや良い条件のご提案をさせて頂きたいと考えています。

最高の旅行を満喫して頂けるよう、心からお待ちしています。

PROFILE.

日本の歴史や文化を勉強するため8年前に遼寧省の瀋陽市から来日しましたが、実際に日本に来て中国にいる時に想像したイメージとはかなり違っていました。特に現在住んでいる石川県金沢市は海に囲まれ有名な山も多く、毎日快適な生活を送っています。



NJT株式会社新日本ツーリスト
<http://nj-tourist.info/>

〒921-8815 石川県石川郡野々市町本町 2-1-30

Tel. 076-248-1455 Fax. 076-248-6767

休業日/日曜日、祝日、年末年始

営業時間/9:30~18:30

登録番号/石川県知事登録 旅行業第2種 82号